

## 科学研究費等研究題目（過去の記録）

1. 科学研究費奨励研究 A：肺腺癌初期像・前癌病変の増殖モデルのコンピューターシミュレーションに関する研究、2001、古泉直也
2. 日本放射線腫瘍学研究グループ助成金：非切除Ⅲ期非小細胞肺癌に対する少量 CDDP 同時併用放射線治療の臨床試験、2000-2001、(研究代表者：酒井邦夫)
3. 厚生省がん研究助成金：ヒト放射線発がんを中心とした分子機構の解明と試料のバンク化、2000-2001、(研究代表者：福本学)、班員：松本康男
4. 厚生省がん研究助成金：化学療法剤の増感性を用いた放射線治療の開発に関する研究、1998-1999、(研究代表者：酒井邦夫)
5. 厚生省がん研究助成金：増感剤を利用した放射線治療の開発に関する研究、1996-1997、(研究代表者：西尾正道)、班員：酒井邦夫
6. 科学研究費基盤研究 B：食道癌に対する 5-FU+CDDP と放射線の同時併用療法に関する基礎的、臨床的研究、1996-1998、酒井邦夫
7. 通信・放送機構プロジェクト研究：高度医療資源共有のための高機能情報通信システムの開発、1996-2000、(研究代表者：斎藤義明)、研究者：酒井邦夫、木村元政、岡本浩一郎、木原好則
8. 科学研究費奨励研究 A：核磁気共鳴を利用した放射線誘発アポトーシス生体内検出の基礎的研究、1996、伊藤猛
9. 科学研究費奨励研究 A：高分解能コンピューター断層撮影での淡い陰影を呈する肺腺癌の鑑別、1996、古泉直也
10. 科学研究費一般研究 B:5-FU 少量持続静注と放射線の同時併用療法に関する基礎的、臨床的研究、1993-1995、酒井邦夫
11. 新潟大学医学部研究助成：SPECT 用放射性リガンドによる神経受容体イメージングの研究、1994、小田野行男
12. 科学研究費一般研究 C：SPECT による新しい放射性リガンドの合成と動物解析モデルの実験的研究、1994、小田野行男
13. 科学研究費一般研究 C：脳梗塞動物モデルを用いたベンゾジアゼピン受容体イメージングに関する実験的研究、1993、小田野行男
14. 科学研究費総合研究 A：MR 血管撮影の診断精度の向上に関する基礎的、臨床的研究、1993-1994、(研究代表者：高橋睦正)、班員：酒井邦夫
15. 厚生省がん研究助成金：陽子線によるがん治療に関する研究、1990、(研究代表者：恒元博)、研究協力者：酒井邦夫
16. 科学研究費一般研究 A：MR スペクトロスコーピーによる放射線治療効果の予測に関する研究、1989-1992、酒井邦夫
17. 新潟県成人病等研究事業：MR スペクトロスコーピーによる癌治療効果の予測に関する研究、1989、酒井邦夫、木村元政、伊藤猛、樋口健史、大久保真樹、藤田勝三
18. 科学研究費総合研究 A：MR スペクトロスコーピーによる生体の組織代謝の研究、1988-1991、(研究代表者：高橋睦正)、班員：酒井邦夫
19. 科学研究費総合研究 A：医用画像管理システムの総合的研究、1987-1989、(研究代表者：入江五朗)、班員：酒井邦夫
20. 科学研究費総合研究 A：放射線治療後の発がんに関する臨床病理学的研究、1986-1987、(研究代表者：酒井邦夫)、班員：斎藤眞理

21. 科学研究費奨励研究 A：ラジオアイソトープによる正常人の脳機能解剖図に関する臨床的研究、1985、小田野幾雄
22. 新潟大学学術奨励会研究補助金：Flow Cytometry による分割照射の実験的研究、1984、酒井邦夫
23. 科学研究費奨励研究 A：放射線肺炎の発現防止に関する実験的研究、1983、末山博男
24. 科学研究費一般研究 A：分割照射における腫瘍細胞動態の Flow Cytometry による解析、1982-1983、酒井邦夫、藤田勝三、日向浩、末山博男
25. 新潟県医師会学術研究助成金：決定理論に基づく肺癌術後予防照射の有意性の解析、1982、小田野幾雄
26. 科学研究費奨励研究 A：原発性肝癌の発育速度に関する臨床的研究、1982、小田野幾雄
27. 厚生省がん研究助成金：放射線治療の利益と損失とに関する研究、1981-1982、(研究代表者：橋本省三)、班員：酒井邦夫
28. 厚生省がん研究助成金：放射線被曝と発がんに関する総合的研究、1979-1980、(研究代表者：山下久雄)、班員：酒井邦夫
29. 厚生省がん研究助成金：胃がん高危険群に関する研究－胃集検における対象集約、1978-1979、(研究代表者：山田達哉)、班員：酒井邦夫、原敬治